

令和5年度 入学式祝辞

新入生の皆さん、受験勉強大変だったと思います。ご入学、本当におめでとうございます。そして、保護者の皆様、今日のこの日を迎えられたこと心よりお祝いを申し上げます。

PTAを代表し一言挨拶させていただきます。

実は私も、この体育館で君達と同じように入学式を迎えた蟻ヶ崎高校OBなんです。

当時の私は、正直なんの目標もなく『みんなが高校に行くから進学した』程度の考えでした。唯一の夢が、甲子園に出ること。その為だけに高校に進学した、と言っても過言ではありません。しかし、残念なことに甲子園にはいけませんでした。

それまで目標にしていた大きな夢を失い、どうしていいかわからず途方に暮れているところに先生から追い打ちをかけることを言われたのです。

『進路どうするんだ？夏休みの間に考えておいて』

急に目の前に、大きな分岐点が現れたのです。甲子園しか考えていなかった私は、もっと先の将来の夢を全く考えていなかったのです。人生を左右する決断をたった1ヶ月で考えなくてはいけなくなりました。

正直、迷子になってしまいました。小学校から高校までの進路は、真っ直ぐな一本道を進んできたような感じでした。しかし、高校からの進路は全く違うのです。ものすごい数の分かれ道があるのです。どの道に進んでいいかわ分からず、目の前が真っ暗になった事を今でも覚えています。そんな時、思い出したのが小学生の頃の将来の夢だったのです。その夢が、私を導いてくれました。

今になって思うのです。高校時代というのは、勉強はもちろん大事。しかし、それ以上に大事なことがあると思うのです。それは、将来の夢を見つける事。夢は、人生の『道標』になってくれるからです。

だけど、将来やりたい事というものは、なかなか見つけられません。だから、この蟻ヶ崎高校という学舎で、今日から少しずつ考えて欲しい。将来、自分が何になりたいのか。そして、勉強だけではなく部活、趣味、生徒会活動。なんでもいい。色々な事に挑戦してください。その沢山の経験の中に、将来の夢に繋がるヒントが必ずあるはずですよ。

3年生になった時、君達の目の前にも人生を決める大きな分岐点が現れます。その時、迷子にならないよう充実した高校生活を送り自分自身を成長させてください。そして堂々と自分の見つけた夢に向かって真っ直ぐ進んでいってください。新入生みんなが、そうなれる事を心から願っています。

最後になりますが、保護者の皆様、大事な高校時代を迎える後輩たちを、PTA活動と通じ全力で応援していきたいと思っています。ご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

この蟻ヶ崎高校で夢が見つかる事を願い、私からの祝辞とさせていただきます。

本日は誠におめでとうございます。

令和5年4月6日

松本蟻ヶ崎高等学校 PTA 副会長 横山 信太郎